

理学療法関連レッスン公開中 110レッスン(セミナー形式)

大分類	中分類	小分類	レッスン名(セミナー形式)	所属・役職	講師名	公開月				
理学療法関連レッスン(セミナー形式)	臨床医学	整形外科	舟状骨骨折とSLAC wrist	兵庫医療大学 教授 兵庫医科大学 整形外科 医師	藤岡宏幸先生	2014年12月				
			小児上腕骨頭上骨折と外顆骨折							
			肘関節脱臼とモンテジア骨折							
	基礎分野	基礎研究	新鮮末梢神経損傷の治療	神奈川県立保健福祉大学 教授 博士(学術)	菅原憲一先生	2015年1月				
			理学療法の基礎研究Ⅰ(1)							
			理学療法の基礎研究Ⅰ(2)							
			理学療法の基礎研究Ⅱ(1)							
		評価・測定	表面筋電図の基礎と臨床(1)	日本リハビリテーション技術教育研究機構 理事長 理学療法士	下野俊哉先生	2014年11月				
			表面筋電図の基礎と臨床(2)							
			表面筋電図の基礎と臨床(3)							
			表面筋電図の基礎と臨床(4)							
			解剖学・生理学				触診(触診で診るもの)-(1)	兵庫医療大学 教授 博士(医学)	川口浩太郎先生	2015年10月
							触診(触診で診るもの)-(2)			
	触診(触診で診るもの)-(3)									
	触診(触診で診るもの)-(4)									
	触診(触診で診るもの)-(5)									
	触診(触診で診るもの)-(6)									
	脳神経分野	脳機能基礎	脳整理学(生理学) 入門編 解剖・生理学の整理-(1)	四條暁学園大学 准教授	雨夜勇作先生	2015年9月				
			脳整理学(生理学) 入門編 解剖・生理学の整理-(2)							
			脳整理学(生理学) 入門編 解剖・生理学の整理-(3)							
			脳整理学(生理学) 入門編 解剖・生理学の整理-(4)							
		神経筋障害	神経科学的知見を応用した脳卒中リハビリテーションの実践(1)	摂南総合病院 認知神経リハビリテーション センター 科長	奥埜博之先生	2014年9月				
			神経科学的知見を応用した脳卒中リハビリテーションの実践(2)							
		ニューロ・バイオフィードバック	パーキンソン病の理学療法(1)	武庫川女子大学 教授	松尾善美先生	2015年7月				
			パーキンソン病の理学療法(2)							
			インタラクティブ・メトロノーム入門(1)							
			インタラクティブ・メトロノーム入門(2)							
	臨床心理	ストレス・メンタルヘルス	インタラクティブ・メトロノーム入門(3)	奈良学園大学 教授	辻下守弘先生	2014年9月				
			バイオフィードバックの国際状況と日本での可能性-バイオフィードバックとは							
			バイオフィードバックの国際状況と日本での可能性-米国におけるBF							
	運動器分野	運動器	バイオフィードバックの国際状況と日本での可能性-BFの応用	ナチュラル心療内科クリニック	竹林直紀先生	2016年4月				
			歩行のバイオメカニクス(1)							
			歩行のバイオメカニクス(2)							
			歩行のバイオメカニクス(3)							
		スポーツ理学療法	歩行のバイオメカニクス(4)	神奈川県立保健福祉大学 教授 博士(保健医療学)	石井慎一郎先生	2014年9月				
			リアライン・コンセプトの理論と徒手療法(1)							
			リアライン・コンセプトの理論と徒手療法(2)							
			リアライン・コンセプトの理論と徒手療法(3)							
			リアライン・コンセプトの理論と徒手療法(4)							
			スポーツ外傷の理学療法(1)				広島国際大学 教授 博士(学術) 株式会社GLAB 代表取締役	蒲田和芳先生	2015年2月	
	スポーツ外傷の理学療法(2)									
	スポーツ外傷の理学療法(3)									
	スポーツ外傷の理学療法(4)									
	疼痛管理	痛み最新の知見と臨床応用(1)	甲南女子大学 准教授	西上智彦先生	2014年10月					
		痛み最新の知見と臨床応用(2)								
		痛み最新の知見と臨床応用(3)								
		痛み最新の知見と臨床応用(4)								
	内部障害分野	循環器(心疾患)	廃用症候群と循環器(1)	甲南女子大学 講師 医学博士	芝寿実子先生	2014年9月				
			廃用症候群と循環器(2)							
			廃用症候群と循環器(3)							
		呼吸器	心臓リハビリテーション(1)	武庫川女子大学 教授	松尾善美先生	2015年7月				
			心臓リハビリテーション(2)							
			慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(1)							
			慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(2)							
			慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(3)							
			慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法(4)							
			外科手術前後の呼吸理学療法(1)							
	外科手術前後の呼吸理学療法(2)									
	生活環境支援分野	ロコモティブシンドローム	慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する呼吸リハビリテーション(1)	兵庫医療大学 教授 医学博士	玉木彰先生	2015年8月				
			慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する呼吸リハビリテーション(2)							
			ロコモティブシンドローム 一療法士の関わり(1)							
			ロコモティブシンドローム 一療法士の関わり(2)							
	物理療法分野	物理療法	ロコモティブシンドローム 一療法士の関わり(3)	宮崎大学 医学部整形外科 リハビリテーション部 教授	帖佐悦男先生	2016年3月				
			ロコモティブシンドローム 一療法士の関わり(4)							
			電気刺激療法(1)							
			電気刺激療法(2)							
			電気刺激療法(3)							
	産業理学療法分野	産業理学療法入門編	電気刺激療法(4)	兵庫医療大学 准教授 博士(保健学)	坂口顕先生	2015年6月				
			集団指導と講習会のためのプレゼン方法の進め方(1)							
		腰痛予防編	集団指導と講習会のためのプレゼン方法の進め方(2)	一般社団法人 産業理学療法研究会 副会長	浅田史成先生	2014年9月				
			産業理学療法(腰痛編)(1)							
			産業理学療法(腰痛編)(2)							
			産業理学療法(腰痛編)(3)							
		高年齢者対策	産業理学療法(腰痛編)(4)	一般社団法人 産業理学療法研究会 副会長	浅田史成先生	2015年3月				
			産業理学療法～企業における高年齢者対策～(1)							
			産業理学療法～企業における高年齢者対策～(2)							
			産業保健分野におけるメンタルヘルス対策							
	メタボリックシンドロームに対する産業理学療法(1)		一般社団法人 産業理学療法研究会				川又華代先生	2015年2月		
	メタボリックシンドロームに対する産業理学療法(2)									
	産業保健分野で活躍する理学療法士		オフィス環境改善コンサルタント 愛知医科大学運動療育センター Empowerment school SOLEIL				山内義崇先生 下和弘先生 福田裕子先生	2015年12月		
	産業保健分野で活躍する理学療法士									
	VDT作業を原因とする肩こりの予防	VDT作業を要因とする肩こりの予防(肩こりの要因と疾患)	一般社団法人 産業理学療法研究会 副会長	高野賢一郎先生	2016年2月					
		VDT作業を要因とする肩こりの予防(肩こりの予防)								
	労働衛生の3管理	労働衛生の3管理 労働衛生管理体制の概要を理解・健康管理の概要を理解	一般社団法人 産業理学療法研究会	谷直道先生	2016年6月					
		労働衛生の3管理 作業環境管理の概要を理解・作業管理の概要を理解								
	教育・管理	教育・管理	地域包括ケアシステムとセラピストの管理者としての組織マネジメント(1)	社会医療法人社団 沼南会 沼隈病院 経営管理部 リハビリテーション部 副部長	森田裕治先生	2015年10月				
			地域包括ケアシステムとセラピストの管理者としての組織マネジメント(2)							
			組織マネジメント概論(1)	神戸大学大学院 経営学研究科 教授 博士(経営学)	上林憲雄先生	2015年10月				
			組織マネジメント概論(2)							
			組織マネジメント概論(3)							
			組織マネジメント概論(4)							

理学療法関連レッスン公開中 110レッスン(セミナー形式)

大分類	中分類	小分類	レッスン名(セミナー形式)	所属・役職	講師名	公開月		
理学療法関連レッスン(セミナー形式)			臨床実習教育方法論(1)	兵庫医科大学 教授 博士(保健学)	日高正巳先生	2014年9月		
			臨床実習教育方法論(2)					
			臨床実習教育方法論(3)					
			臨床実習教育方法論(4)					
	教育・管理	教育・管理	理学療法士の現状と今後 管理教育の必要性(1)	自由が丘整形外科 事務長	山口剛先生	2015年12月		
			理学療法士の現状と今後 管理教育の必要性(2)					
			理学療法士の現状と今後 管理教育の必要性(3)					
			理学療法士の現状と今後 管理教育の必要性(4)					
			近年の学生の特性に注目した新人教育について(1)	佐藤第一病院 リハビリテーション部 係長	藤原愛作先生	2015年12月		
			近年の学生の特性に注目した新人教育について(2)					
			リハビリテーション現場におけるマネジメント これからの組織運営とビジョンの作成	株式会社 互恵会大阪回生病院 リハビリテーションセンター	森憲一先生	2016年5月		
			リハビリテーション現場におけるマネジメント 組織の分析・ミッション・戦略目標の作成					
			その他	行動科学	起業と組織 ~セラピストも知っておくべき'お金'の知識~(1)	株式会社P-tex 代表	東克哉先生	2015年11月
					起業と組織 ~セラピストも知っておくべき'お金'の知識~(2)			
	起業と組織 ~セラピストも知っておくべき'お金'の知識~(3)							
	セラピストに必要な行動科学の知識(1)	奈良学園大学 教授			辻下守弘先生	2014年9月		
	セラピストに必要な行動科学の知識(2)							
	セラピストに必要な行動科学の知識(3)							
	セラピストに必要な行動科学の知識(4)							

医学・薬学関連レッスン公開中 48レッスン

※このレッスンで使用するコンテンツは、「MPラーニング事務局」が所有しており、「MPラーニング運営委員会」の協力により公開しています。

大分類	中分類	小分類	レッスン名	公開月		
医学・薬学関連レッスン	疾患・治療	精神・神経系	うつ病~疾患編~	2012年1月		
			うつ病~治療編~	2012年1月		
			うつ病~服薬指導・生活の工夫編~	2012年1月		
			脳梗塞~疾患編~	2007年3月		
			脳梗塞~薬物治療編~	2007年4月		
			脳梗塞~服薬・生活指導編~	2007年4月		
			認知症~疾患編~	2014年11月		
			認知症~治療編~	2014年11月		
			認知症~服薬・生活指導編~	2014年11月		
			認知症~介護編~	2014年11月		
			心臓・血管系	抗不整脈薬の留意点、服薬・生活指導	2010年6月	
				狭心症~疾患編~	2013年5月	
		狭心症~治療編~		2013年5月		
		急性心筋梗塞~疾患編~		2013年5月		
		急性心筋梗塞~治療編~		2013年5月		
		虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)~服薬・生活指導編~		2013年5月		
		慢性心不全~疾患編~		2014年3月		
		慢性心不全~治療編~		2014年3月		
		慢性心不全~服薬・生活指導編~		2014年3月		
		呼吸器系		喘息~疾患編~	2010年9月	
				喘息~治療編~	2010年9月	
				喘息~服薬・生活指導編~	2010年9月	
			COPD(慢性閉塞性肺疾患)~疾患編~	2014年6月		
			COPD(慢性閉塞性肺疾患)~治療編~	2014年6月		
			COPD(慢性閉塞性肺疾患)~服薬・生活指導編~	2014年6月		
			喘息&COPD~吸入薬の使い方編(1)~	2014年3月		
			喘息&COPD~吸入薬の使い方編(2)~	2014年3月		
		消化器系	肝炎~疾患編~	2008年2月		
			肝炎~治療(ウイルス性肝炎)編(1)~	2008年2月		
			肝炎~治療(ウイルス性肝炎)編(2)~	2008年2月		
		内分泌・代謝系	痛風と高尿酸血症~疾患編~	2007年3月		
			痛風と高尿酸血症~薬物治療編~	2007年3月		
			痛風と高尿酸血症~服薬・生活指導編~	2007年3月		
		婦人科系	乳がん~疾患編~	2012年2月		
			骨・関節・筋系	骨粗鬆症~疾患編~	2013年10月	
				骨粗鬆症~治療編~	2013年10月	
		骨粗鬆症~服薬・生活指導編~		2013年10月		
		在宅医療	介護保険制度	患者説明用 COPD慢性閉塞性肺疾患	2007年3月	
				患者説明用 痛風	2007年3月	
				患者説明用 排尿のトラブル	2007年3月	
				患者説明用 肥満	2007年3月	
				患者説明用 不眠	2007年3月	
				患者説明用 うつ病	2008年4月	
				患者説明用 関節リウマチ	2008年4月	
				検査	患者説明用 検査各論	2007年3月
					患者説明用 ガイドラインと検査値	2007年3月